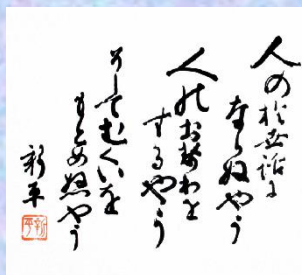




後藤新平記念館通信

奥州市立後藤新平記念館

R8年10・11月



【自治三訣】

第15回新平小検定 ～347名の児童がチャレンジ～



夏休み企画として15回を数える「新平小検定」に今回も市内の小学5・6年生が多数チャレンジしました。期間中は友達と一緒に来館し、協力しながら検定にチャレンジする姿、家族と来館し、親子で検定にチャレンジする姿が見られました。

今回の検定には、学校提出も含め347名の児童がチャレンジしました。児童数が前年度より減少している中ですが、チャレンジ数は前年度より17名増という結果となりました。ご協力いただいたご家族の皆様、小学校の先生方ありがとうございました。

今回の検定に出題された問題の中から3問紹介します。 ※正答は欄外に記載

- ① 1898年、41歳の後藤新平は日本の統治下にあった台湾の民政局長を務めました。そこに新平がアメリカから呼び寄せ、砂糖をつくる産業を任せた人物は誰でしょう。
ア・安場保和 イ・児玉源太郎 ウ・浜野弥四郎 エ・新渡戸稲造
- ② 後藤新平が市長を務めている間に、ある会社の命名（名前をつけること）を依頼されます。新平が名前をつけたその会社は何でしょう。
ア・SONY イ・Panasonic ウ・CITIZEN エ・TOYOTA
- ③ 1922年、65歳の後藤新平は少年団日本連盟（後のボーイスカウト）の総裁になりました。総裁（後に総長）時代の姿を表した「新平と少年」という銅像は現在どこにあるでしょう。
ア・水沢駅 イ・水沢江刺駅 ウ・水沢公園 エ・新平旧宅（生家）

後藤新平顕彰会活動 視察研修・草刈り剪定作業



花巻新渡戸記念館にて

後藤新平顕彰会の事業である視察研修が、9月30日（水）、11名参加のもと花巻市の博物館、記念館巡りを中心に開催されました。前日までの雨模様から、秋晴れの好天に恵まれ、爽やかな天気の中の視察研修となりました。宮沢賢治記念館では花巻観光協会の花巻おもてなし観光ガイド、花巻市博物館では学芸員の方、そして花巻新渡戸記念館では獄間澤館長さんのガイドと、各施設で詳しい案内をしていただき、個人の見学では中々得られない貴重な時間となりました。企画運営をしていただいた佐藤晃信視察交流部会長さんはじめ、参加いただいた皆様、お疲れさまでした。

また、9月12日（土）には顕彰会役員の方々を中心に、記念館の生垣と中庭の草刈り剪定作業をしていただきました。手際の良い作業で、とても綺麗にさせていただきました。シルバーウィーク前の作業でしたので、連休中たくさんの来館者を気持ちよくお迎えすることができました。ありがとうございました。



生垣剪定作業

記念館の教育活動 出前授業・職場体験学習



今年度から奥州市の小中学校では、ふるさと奥州市について理解を深める「ふるさと学習」が始まりました。記念館では、その一環として、各学校への出前授業、記念館での職場体験学習を行っています。今年度9月末時点での出前授業は、江刺ひがし小学校、水沢南小学校、姉妹小学校、そして水沢看護学苑で行いました。また、職場体験学習は東水沢中学校、江刺第一中学校の生徒が体験しています。

10月11月休館日 10月5日（月）、13日（火）、19日（月）、26日（月）、11月2日（月）、9日（月）16日（月）、24日（火）、30日（月）

① エ ② ウ ③ イ